

# 令和4年度 福井市日新小学校スクールプラン

学校教育目標

## 心豊かで自ら学び自ら考えるたくましい児童の育成

目指す学校像

目指す児童像

学びがいのある学校  
やりがいのある学校  
頼りがいのある学校

- よく考え、進んでやり抜く子
- 人や物に感謝し、協力できる子
- 心身共に健康で、たくましい子
- ふるさとを大切にす子

研究主題

「なかまとつなげる 確かな学び」  
～主体的に学び、対話を通して考えを深める授業づくり～

### 福井市学校教育方針

#### 「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

- ・学びをつなぐ・未来につなげる
- ・「系統性のある学び」「地域に根ざした学び」
- ・子どもの学びを「人・もの・こと」とつなげる
- ・「自分の学校の実践を語るができる教師」

### 「地域とともに歩み、

#### 未来を切り拓く子どもたち」

- ・授業づくり部会
- ・生き方教育部会
- ・子ども支援部会

### 児童の実態

- ・明るく、素直で、元気なあいさつができる
- ・自分の考えを持ち、積極的に学び合いに参加できる
- ・高学年が優しく低学年に接することができる

### 保護者・地域の願い

- ・思いやりがあり、優しく素直な子
- ・自分の考えが持てる子
- ・心身共に健やかな子

### 教師の願い

- ・笑顔であいさつができる子
- ・自分の思いを表現できる子
- ・思いやりのある子
- ・粘り強く取り組む子

## 重点目標

### 確かな学力

- 対話を活性化し、主体的・対話的で深い学びの実現する授業づくり
- タブレットの有効活用を研究し、学びとICTをつなぐ教育の推進
- 読書活動の推進

### 豊かな心

- キャリア教育を実施し、夢や希望を育む教育の推進
- 一人一人の個性や良さを認め合う温かい集団づくり
- 異学年やペア学年の交流で、子どもと子どもをつなぐ活動の充実

### 健やかな体

- 規則正しい生活習慣の定着と健康な体づくり
- 家庭とつなぐ情報モラル教育の推進
- 危機管理体制の構築と危険回避能力の育成

### 家庭・地域との連携・協働

- 保護者や地域と連携した学校づくり
- 地域の教育資源を活用した教育活動の推進
- 家庭・地域との子どもの成長への取組を共有

## 具体的な取組

- ・対話を活性化させ、深い学びを実現するための授業研究を行う。
- ・一人一台のタブレットを活用した研修会を定期的実施し、学びとICTの有効性を実感する授業を工夫する。
- ・教室とクラウド、家庭とをつなぎ子どもの学びを継続する。
- ・学校司書連携し、読書に親しむ工夫した読書活動を推進する。

- ・アントレキッズや連携授業を充実し、夢や希望を育む教育を行う。
- ・個性や成長を認め合う学級づくりを推進し、自己肯定感を育む。
- ・縦割り班活動、ペア学年合同授業等を行い、温かい人間関係のある集団づくりを行う。
- ・いじめや人権に関するアンケートがかりな児童の情報交換を行い、未然防止、早期解決をする。

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」や挨拶活動を推進し、生活習慣の定着を図る。
- ・運動量のある学習や活動を推進し健康な体づくりにつなげる。
- ・情報モラル教室を実施し、スマートルールの定着を図る。
- ・感染予防対策の徹底、交通安全教室、防災訓練を実施し、危険回避能力を育成する。

- ・感染予防の徹底やICTを活用した授業公開の在り方を工夫し、学校公開を実施する。
- ・地域の教育資源や人材を活用した教育活動を工夫し、地域への愛着や誇りを育てる。
- ・毎月の学校便りや学年だよりの発行、毎週HPの更新を行い、教育活動や運営状況の情報発信を行う。

### <数値目標>

- ・学校が楽しいと感じる児童 93%
- ・授業中、対話や「かえるタイム」で学びが実感できる児童 80%
- ・タブレットが学習に役立つと考える児童 90%
- ・図書貸出一人平均 70冊以上

### <数値目標>

- ・将来の夢やめざす目標をもっている児童 90%
- ・集会活動等で友だちのことを考え行動ができる児童 90%
- ・いじめを止めるために行動できる児童 80%

### <数値目標>

- ・時間の決まりなどをしっかり守って生活している児童 90%
- ・体育の時間や休み時間などしっかり運動する児童 90%
- ・安全面について適切に指導していると答える保護者 80%

### <数値目標>

- ・教育活動を十分公開していると感じる保護者 90%
- ・総合の時間は地域のことを調べて楽しいと感じる児童 90%
- ・子どものことで気軽に相談できる保護者 80%

### 【業務改善への取組】

- ・終礼は月曜（週1回）
- ・掲示板やTeams活用による情報共有
- ・教材資料の共有化
- ・タブレット有効活用による会議の効率化
- ・ICカード活用によるタイムマネジメント
- ・午後7時までの退勤の励行